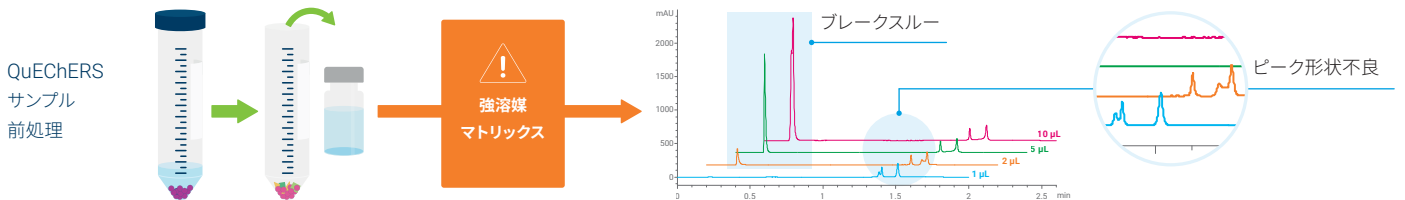


より優れたピークを 取得するためのサンブラ

Agilent 1260 Infinity II ハイブリッドマルチサンブラ

食品安全性では、QuEChERSによりサンプル前処理は簡素化されますが、使用する強溶媒によってLCとLC/MS分析は複雑になります。

Agilent
InfinityLab



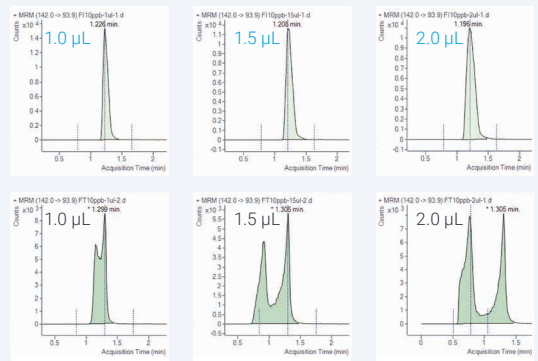
QuEChERS サンプル前処理の後、強溶媒に溶解したサンプルは、HPLCにおいて溶媒効果の原因となることがあり、特に注入量が増加した場合に、ピークブレイクスルーやピーク形状不良が生じる可能性があります。

Feed 注入モード搭載 Agilent 1260 Infinity II ハイブリッドマルチサンブラ

アジレントの Feed 注入は、サンプルを移動相の流れに導入させることにより強溶媒の影響を軽減し、サンプル前処理の手順を追加することなく優れたピーク形状と容易なピーク積分を実現します。



アジレントの Feed 注入 モード



従来のフロー スルー注入

溶出の早い極性農薬メタミドホス (アセトニトリル中に 10 ppb) のさまざまな注入量での比較。

マルチサンブラの詳細はこちら：

[ハイブリッドマルチサンブラの製品ページ](#)

アプリケーションノートはこちら：

農薬分析におけるピーク形状の向上と LOQ の改善
[アプリケーションノート \(5994-6125JAJP\)](#)

DE91579138

本資料に記載の情報は、予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2023
Printed in Japan, May 17, 2023
5994-6099JAJP

 **Agilent**
Trusted Answers